



## ネットアップデータ移行サービス

データとビジネスへのリスクを抑え、  
レガシー環境から最新プラットフォームへのスムーズな移行を実現



## データ移行に伴うリスク

データはビジネスの成功を左右する新時代の通貨です。イノベーションや新たな収益獲得のチャンスはデータから生まれます。データの保存場所がオンプレミスであれクラウドであれ、最大限の価値を引き出すためには、最新のインフラが欠かせません。

しかし、データ移行プロジェクトには予算やスケジュールの超過が付きものです。旧式のレガシー環境から最新鋭のストレージ プラットフォームに移行してデータの利便性、効率性、パフォーマンスを高めようとしても、移行のプロセスが複雑化して時間がかかる場合があり、ビジネスに悪影響やリスクをもたらしかねません。IT変革の妨げになることもあります。ビジネス面、技術面、運用面の要件に沿った移行プロセスの実現も一筋縄では行きません。



Gartnerは、データ移行プロジェクトの50%以上が戦略と実践の不備により、予算とスケジュールを超過したりビジネスに悪影響をもたらしたりすると予測しています<sup>1</sup>。

1. <https://www.itconvergence.com/blog/data-migration-planning-and-best-practices/>

# 移行を成功させるには計画と準備が重要

データ移行は簡単という印象があるのか、多くの企業は、移行を成功させるために必要な時間、専門知識、リソースを甘く見すぎています。プロジェクトマネージャーの中にも、データ移行は簡単という思い込みから、大規模な重要プロジェクトの終了間際にあって移行のスケジュールを考える人が大勢います。データ移行がビジネスに及ぼし得る影響をきちんと把握して、分析と戦略策定を最初の段階で行っておくという考えはありません。適切な計画と準備を最初に行ってないために、移行が長引いたり、中断に追い込まれたりする場合があり、移行が失敗に終わることもあります。



## データ移行が失敗する主な原因

- ・ 移行前の計画不足
- ・ 移行後の環境に対する明確なイメージの欠如
- ・ 移行を実施できる専門的な技術スキルを備えた人材の不足
- ・ 必要なコストと時間に対する認識の甘さ
- ・ 不適切なバックアップによるスケジュールの遅れ
- ・ 移行に関するプロジェクト管理のスキル不足

データ移行に伴う労力の無駄をなくし、コストを抑え、悪影響を防ぐためには、データ移行計画に次の7つの重要なタスクを取り入れておくことが必要です。



### 1. データの複雑さを分析する

自社の環境で使用しているデータの種類を特定し、依存関係を見極めて、新しいストレージシステムへのデータ移行方法を定義します。



### 2. データ標準を設定する

円滑な移行を可能にし、重要なリスク要因をプロアクティブに特定できるよう、一連のデータ標準を定義します。



### 3. データガバナンスのポリシーを確立する

データ品質を維持し、移行中と移行後にデータを常に保護できるよう、標準とルールを策定します。



### 4. データ品質を評価する

データの不一致、不備、重複を特定し、移行で問題が生じないクリーンなデータを準備します。



### 5. 移行の要件を取りまとめる

移動するデータ、データの使用方法と使用者、データ移行がビジネスに及ぼす影響、移行後のユーザの業務に及ぼす影響を明確化します。



### 6. 適切な移行ツールを特定する

自社の環境に合った移行ツールを特定し、そのツールを使いこなせるエキスパートをチーム内に確保します。



### 7. テストと検証を行う

移行プロセスを完全にテストし、データのセキュリティと整合性が損なわれないことを検証します。

## エキスパートの力を借りる

シンプルでスピーディーなデータ移行プロセスを実現し、データやビジネスをリスクにさらさないためには、エキスパートの支援が重要です。ネットアップデータ移行サービスのエキスパートは、お客様のビジネス要件に沿った計画を策定し、お客様のデータ移行を支えます。エキスパートの専門知識を生かすことで、スムーズな万全の移行を実現でき、パフォーマンス、セキュリティ、ROIの面でビジネスバリューが得られます。

スピーディーでスムーズな移行を実現するネットアップデータ  
移行サービス



95%高速化

ある大手自動車メーカーは、ネットアップ プロフェッショナル サービスを利用した結果、224TBのデータをOracleからネットアップにわずか2日で移行し、移行プロセスを何カ月も短縮できました。

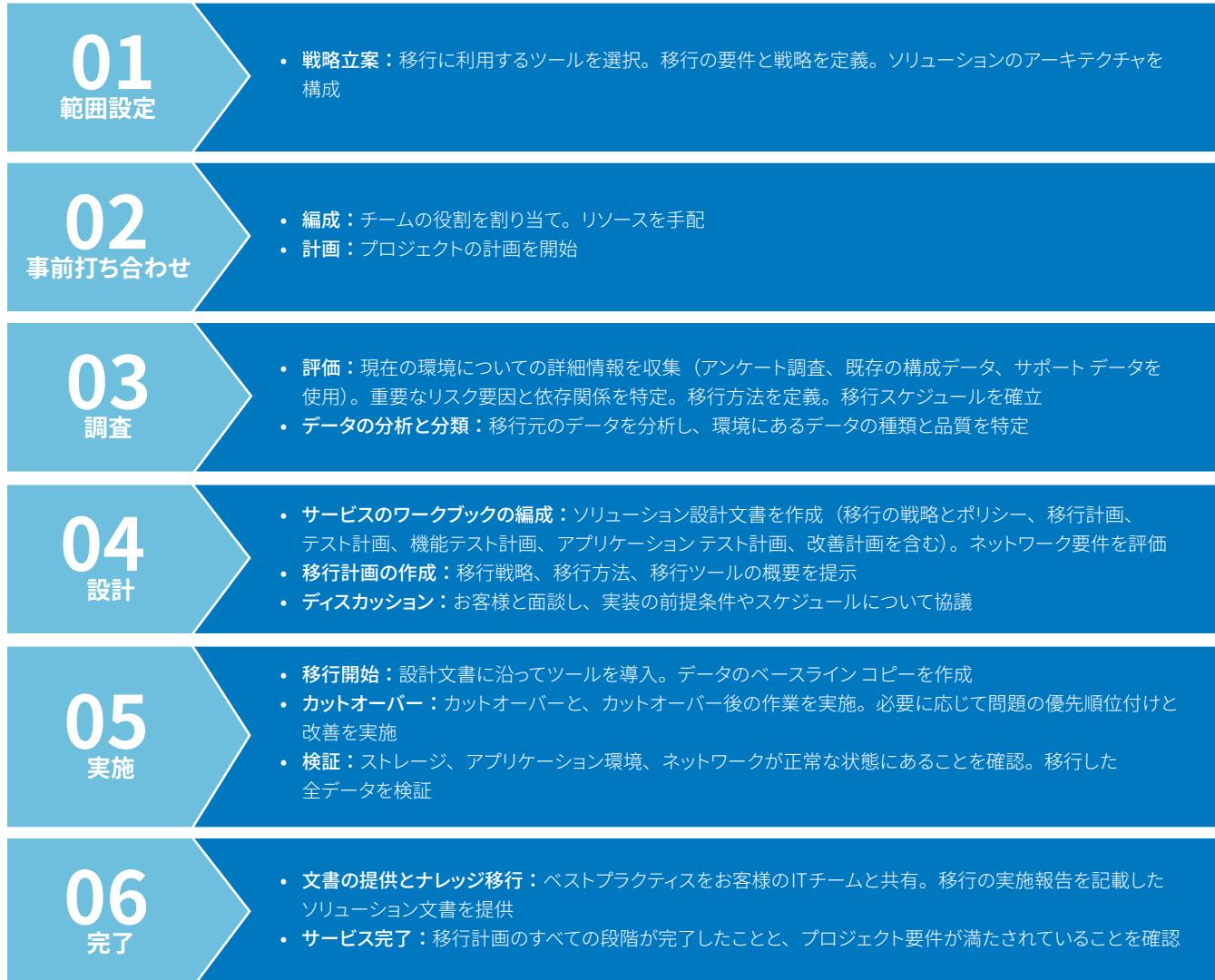


「これだけの規模の移行となると、必要な計画と準備の量を過小評価するわけには行きません。当社は、230TBの生データを移行しましたが、システム停止に対する苦情は一切なく、パフォーマンス低下の報告もありませんでした」

— 大手金融機関のストレージ管理者

# 実績ある手法が成功の鍵

ネットアップ プロフェッショナル サービスは、データ移行で20年以上の経験があり、そのエキスパートは、実証された6ステップの手法を採り入れています。リスクを抑えたスピーディーな移行を1回で成功できるツールとプロセスを活用した、再現可能なアプローチです。サービス完了時にお客様が手に入るネットアップ環境は、構成、テスト、検証が完全に終了しており、データの損失も一切ありません。





## ビジネス クリティカルなデータをあらゆる場所から簡単に移動

ネットアップは、各社のストレージ ソリューションからビジネス クリティカルなデータを移動する工程について豊富な専門知識があり、次のようなさまざまな他社製品に対応しています。

- Dell EMC : Isilon、VMAX、VNX / Unity、XtremIO、SCシリーズ
- HPE : 3PAR、Nimble
- Hitachi Vantara : VSP、HNAS、HCP
- IBM FlashSystem
- Pure Storage : FlashArray、FlashBlade

ネットアップ プロフェッショナル サービスのエキスパートは、知識と技能を生かして、システム停止を最小限に抑えたデータ損失ゼロのスムーズな移行を実現します。万全の移行のために、プロジェクトに合った最善の移行パスと移行ツールを特定し、NetApp XCPなどの自社製ツールや、サードパーティベンダー製の高度なツールを活用します。

### 移行ワークフローの例

#### EMC Isilonからネットアップへの移行

- 移行元のIsilonに基づいて、ネットアップの導入と設計を実施
- ストレージのエコシステムとインフラを統合（認証プロバイダ、監視）
- ディザスタリカバリの手順を更新
- 新しいストレージをネットアップ クラスタにプロビジョニングし、性能を検証
- エンドユーザーとヘルプデスクの準備を整え、変更の認知（対象と理由）を支援
- サイト間でNetApp SnapMirror®のレプリケーションを確立
- NetApp XCPのコピー ジョブを実行
- NetApp FlexClone®のエンドユーザー受け入れテストを実施
- 移行テスト - 試験環境のカットオーバー
- 移行 - 本番環境のカットオーバー

### Isilonからネットアップへのワークフローの実例

米国の大手金融機関で、80TBのデータをEMCから移行する作業をわずか2ヶ月強で完了しました。これは、想定より80%速いスピードでした。



80TB

のデータ移行を  
2ヶ月強で完了



80%

想定より速い  
スピードで移行

## お客様事例

ネットアップデータ移行サービスを利用したお客様の事例をいくつかご紹介します。

### グローバルな石油ガス企業

5PBのデータをネットアップに移行しました。データ損失も破損もなく、社内チームが対応する場合に想定していた速さの15倍で完了しました。



**15倍**  
高速



**ゼロ**  
データ損失



**ゼロ**  
データ破損

### 米国の大手小売企業

400台以上のSANホスト、3,000以上のLUN、180TBのデータ(480以上のファイル共有)、3億個のファイルを、わずか4カ月でネットアップに移行しました。パフォーマンスの問題は一切生じませんでした。



**4**

カ月で移行



**0**

パフォーマンスの問題

### グローバルな金融サービス プロバイダ

5PBのデータをFlexPod®に移行しました。業務の中断は最小限に抑えられ、競合企業のソリューションへの移行を想定してその企業から提示された移行期間よりも、10日間短くて済みました。



**5PB**  
のデータを移動



**10**

日間短縮  
(競合企業との比較)

### ヨーロッパの大手金融機関

4億600万個以上のファイルと、1万500以上の共有を、わずか10週間でネットアップに移行しました。



**4.06億**

個のファイルを移行



**10**

週間で完了



## データセンターの枠を越えてクラウドに移動

クラウドがビジネスに変革をもたらしています。ITを刷新して、企業が求める柔軟性とコストパフォーマンスを実現するうえで、クラウドはすばやい解決策となります。企業各社にとって、データやアプリケーションをクラウドに移行することは、もはや選択肢の1つではなく、必要不可欠です。

しかし、クラウドへの移行は思うほど簡単ではありませんし、期間とコストが想定を上回ることも多々あります。その主な原因は経験不足です。

クラウドへの移行を成功させるには、クラウドサービスやクラウドインフラについての知識と準備が必要で、思ったよりも失敗が頻発します。失敗を避けるには、クラウドに適したデータやアプリケーションと、オンプレミスに残した方がよいデータやアプリケーションとの違いを理解する必要があります。また、クラウドにデータを安全に移動するためのツールや、その効果的な使い方についても知っておく必要があります。

### お客様の目標達成をネットアップのエキスパートが支援

ネットアッププロフェッショナルサービスは、その専門知識、ツール、ベストプラクティスを生かして、お客様が重要なインフラリソースを効率的に活用できるよう支援し、世界有数のパブリッククラウドであるAWS、Azure、Google Cloudに対し、ビジネスクリティカルなワークフローを万全の状態でセキュアに移動できるようにします。

ネットアップのエキスパートには、データ移行の優れた専門知識があり、クラウドへのスピーディーな移行を次のような面で支援します。

- 環境の要件を定義し、移行中のサービス中断を抑制
- コンピューティングとストレージのワークフローを評価し、パブリッククラウドコンピューティングに最適なワークフローを特定
- お客様のコンピューティングとストレージのワークフローに最も適したパブリッククラウドを見極め、オンプレミスのストレージサービスに匹敵するパフォーマンスを実現
- 現在のコンピューティングとストレージのワークフローを最適化することで、効率的な移行を可能にし、クラウドにふさわしい容量、パフォーマンス、対費用効果を継続的に実現



## データ移行のリスクを抑制

プラットフォームの移行は決して単純な作業ではありません。データ移行の複雑さを過小評価した結果、プロジェクトの期間も予算も超過してしまう企業は数多くあります。また、適切な専門知識がないと、計画外停止やデータ損失が生じかねません。

専門家の支援があれば、データ移行のプロセスがシンプルになり、データやビジネスをリスクにさらすことなく、短期間で移行を完了することができます。

ネットアップ データ移行サービスでは、実績ある手法、ベストプラクティス、ツールをネットアップのエキスパートが活用し、スピードでセキュアな移行を1回で完了します。移行先がオンプレミスの新しいネットアップソリューションの場合も、パブリック クラウドソリューションの場合も、ネットアップのエキスパートがお客様を支えます。スムーズな移行のために必要な専門知識を提供し、リスクや中断を最小限に抑えます。

データ移行プロジェクトで失敗する半数の企業の仲間入りをするのは避けたいところです。ネットアップ プロフェッショナル サービスのエキスパートは、成功を後押しする力になります。

### 次のステップ

データ移行とネットアップのサービスの詳細については、以下のリソースをご覧ください。

- ・ ネットアップ データ移行サービスのデータシート
- ・ Eブック『Migrating Enterprise Workloads to the Cloud』
- ・ Eブック『SANエンタープライズ アプリケーションのデータ移行』
- ・ SANエンタープライズ アプリケーションのデータ移行に関するビデオ

データ移行を今すぐ始めたいとお考えの方は、ネットアップの営業担当者にお気軽にご相談ください。

### ネットアップ サービスについて

お客様が次世代型データセンターの導入を計画している場合でも、大規模なストレージ導入に備えて専門的ノウハウを必要としている場合でも、さらには既存インフラの運用効率を最適化したいとお考えの場合でも、ネットアップ サービスと認定パートナーがお客様を支援します。

### ネットアップについて

ネットアップはクラウド データ サービスのリーダーとして、データで世界を変えようとするグローバル企業のお客様を支援します。お客様に最適なデータ ファブリックの構築をサポートできる唯一の企業として、パートナー様とともに取り組んでいます。ハイブリッド マルチクラウドを簡易化し、必要なデータ、サービス、アプリケーションを適切なユーザーに適切なタイミングで安全に提供します。詳細については、[www.netapp.com/jp](http://www.netapp.com/jp)をご覧ください。